



めざせ! <sup>みず</sup>水アーティスト

# ふんすいに<sup>ちょうせん</sup>挑戦!

金沢市の兼六園という公園にあるふんすいは日本最古のものといわれ、ポンプなどの動力は一切使わずに、水の高差だけを利用して水を噴き上げさせています。サイフォンと呼ばれる、この仕組みを使った簡単ふんすいを作ってみよう!

## 用意するもの

たれびん、ストロー (2本)、紙ねんど、ペットボトル、細いビニール管 (2~3m)、両面テープ  
※画びょうやカッターナイフを使うときは大人に手伝ってもらいましょう



1 ビニール管の両端にストローを差し込む



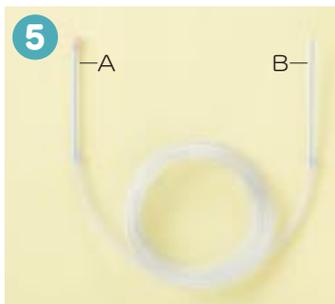
2 たれびんのふたを外す



3 ふたに画びょうなどで穴を開ける



4 チューブにさしたストローの片方にたれびんのふたを着ける (両面テープなどで貼ると固定しやすい)



5 ①~④の手順でできたビニール管



6 ペットボトルの口付近にチューブが通る程度の穴を開ける



7 ⑥で開けた穴に (B) の方からチューブを差し込む



8 (A) を紙ねんどで固定する



9 チューブを差し込んだペットボトルに水を入れる



10 チューブの曲がったところより水の方が高くなるとチューブから水が噴き出す



11 一度水が噴き出すと、ペットボトルが空になるまで噴き出し続ける

## 今回のふしぎワード

### サイフォン

もとの水面と管の出口の圧力の差を利用して水を移動させる方法で、水槽にいっぱい入った水を簡単にくみ出したいときなどに用いられます。今回のふんすいだけでなくコーヒーマーカーなどにもその仕組みを取り入れたものがあります。